

Blue Moon インストール・マニュアル

目次

Blue Moon インストール・マニュアル.....	1
1. インストールの準備.....	2
2. サイドローディングの準備.....	3
3. ソフトウェア証明書のインポート.....	4
4. Blue Moon のインストール.....	5
インストール手順.....	6
5. Blue Moon のアップデート手順.....	8
6. Blue Moon のアンインストール手順.....	8

1. インストールの準備

Blue Moon Version 4.0.0 以降のインストールを行う場合は、次のユーザー環境により手順が異なります。

- A) 新規に Blue Moon Version 4.0.0 のインストールを行う環境
- B) Blue Moon Version 3.3.3 以前がインストール済みの環境

上記 A) の場合は、「[2. サイドローディングの準備](#)」へ進んで下さい。

上記 B) の場合は、念のために DB ファイルのバックアップを推奨します。

バックアップは次のフォルダを丸ごと安全な場所へコピーして下さい。

C:\Users\ユーザー名\AppData\Roaming\SymmetrySoft\BlueMoon

DB ファイルを任意の名称及び保存場所で管理している場合は、そのファイルもバックアップすることを推奨します。

バックアップ完了後に「[2. サイドローディングの準備](#)」へ進んで下さい。

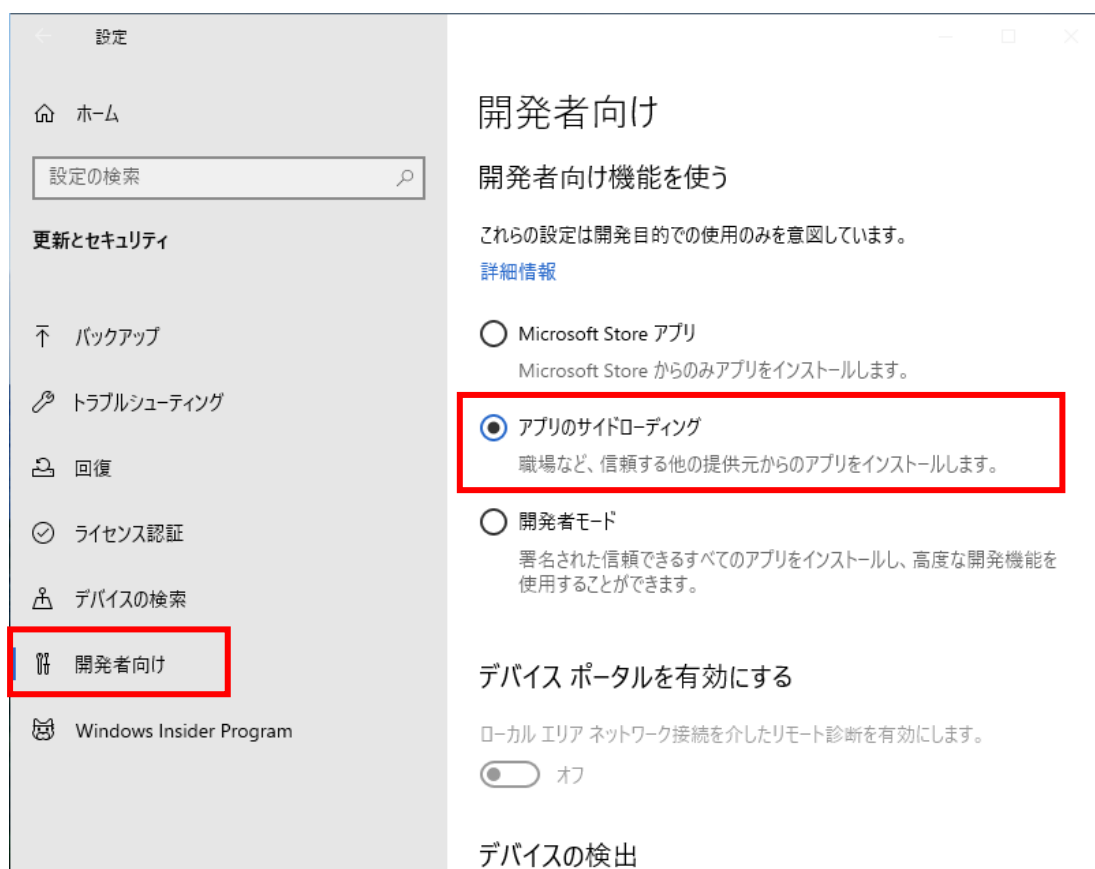
なお、古いバージョンで使用していた DB ファイルは、そのまま継続して利用できます。

2. サイドローディングの準備

OS バージョン 1909 以前の環境でサイドローディングを行う場合は、OS 設定でこの機能を有効にする必要があります。

なお、OS バージョン 2004 以降の環境で利用する場合は、この作業は不要です。次のステップ「2. ソフトウェア証明書のインポート」へ進んで下さい。

- ① OS の設定アプリを起動し、「更新とセキュリティ」から「開発者向け」を選択して下さい。
- ② 「アプリのサイドローディング」を有効にして下さい。インストール完了後は、元に戻して下さい。



3. ソフトウェア証明書のインポート

MSIX でパッケージされたアプリのインストールを行う場合には、セキュリティ強化のため証明書のインポートが必須要件になりました。インポートを行わない場合は、アプリのインストールができなくなりましたのでご注意ください。

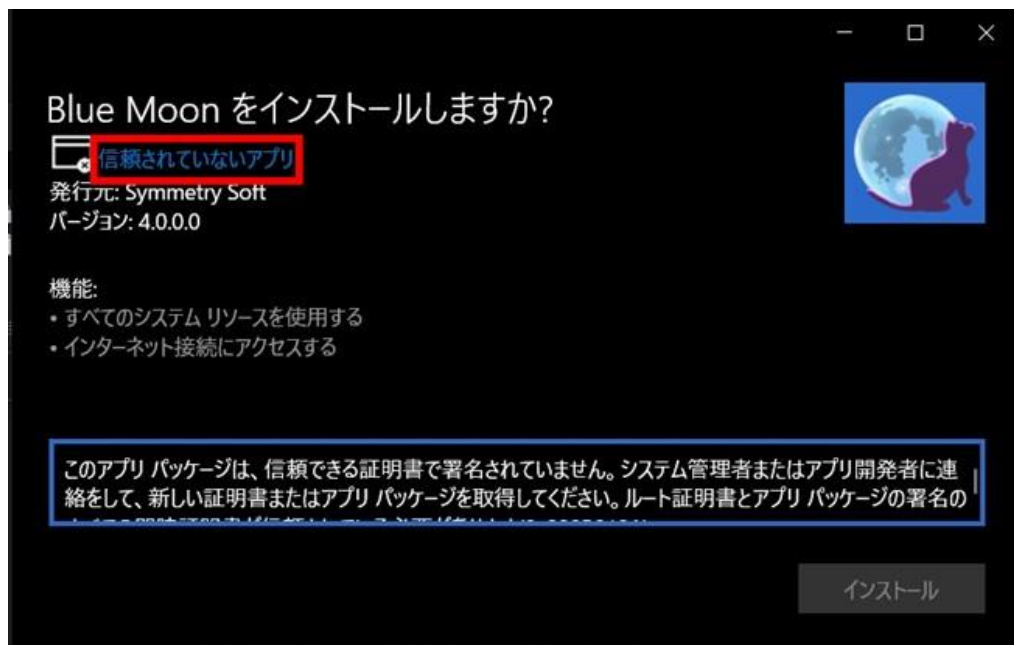
Version 4.0.0 以降は、新しい証明書に変更しています。Version 3.3.3 以前にインストールを行った証明書とは異なります。

証明書のインポート手順については、「ソフトウェア証明書のインポート手順書.pdf」ファイルを参照して下さい。

なお、既にこの証明書のインポートが済んでいる場合、この作業は不要です。

証明書がインポート済みか確認する簡単な方法は、Blue Moon のインストールを実行することです。「[4. Blue Moon のインストール](#)」へ進んで下さい。

証明書のインポートを行っていない場合は、次の画像の様に「信頼されていないアプリ」と表示されます。インストールの継続ができなくなるため、証明書のインポートを行ってから再度実行して下さい。



※MSIX は、Microsoft 社が提供している最新のアプリパッケージ形式です。セキュリティに優れたアプリのインストール及び管理ができるようになります。

4. Blue Moon のインストール

従来の MSI インストーラーでインストールを行った「Version 3.3.3 以前の Blue Moon」が既にインストールされている状態でも、インストール可能です。その場合は、任意のタイミングで旧バージョンのアンインストールを行って下さい。

新旧バージョンで DB ファイルを共有することは可能です。ただし、新機能となるセキュリティ関連の設定を行った場合やユーザー定義項目の文字列型で従来の制限サイズ以上を登録した場合は、Version 3.3.3.0 以前の Blue Moon では読み込みできなくなるので注意して下さい。

なお、Version 3.3.3 以前の BlueMoon がインストールされている場合、物理領域のレジストリ設定データ（各種設定情報）を引き継ぐことが可能です。（初回起動時に物理領域のレジストリデータを論理領域に展開します。）

そのため、新しい Blue Moon のインストール後に、旧 MSI パッケージ版の Blue Moon のアンインストールを行い、合わせて古いデータ領域をクリアすることを推奨します。

古いデータ領域の削除手順や注意点については、「Blue Moon の操作マニュアル」の次の章を参考にして下さい。

「設定管理」>「環境の設定と管理」>「プログラム設定情報の管理」の「3. 注意点」と「物理領域の削除手順」

インストール手順

- ① ダウンロードし解凍を行ったフォルダ内に含まれている、「BlueMoonPackage_x.x.x.x_x64.msixbundle」ファイルをダブルクリックして下さい。
- ② 発行元が「Symmetry Soft」になっていることを確認し、「インストール」をクリックして下さい。



- ③ インストールが開始されます。「Visual C++ 2013 UWP Desktop Runtime Package」ランタイムライブラリがインストールされていない場合は、自動的にインストールが開始されます。（インターネットに接続できる環境の場合）

※オフラインでインストールを行う場合は、ダウンロードを行ったファイルに含まれる次のファイルをダブルクリックし、事前に手動でインストールしておいて下さい。

「Microsoft.VCLibs.x64.12.00.Desktop.appx」

- ④ インストール完了後、自動的に起動します。（「準備ができたなら起動」をチェックしている場合）

- ⑤ 起動後に、以前の DB ファイルのデータが問題なく使用できることを確認して下さい。壊れているなどの問題が有るようでしたら、バックアップを行ったデータに変更して下さい。

5. Blue Moon のアップデート手順

インストールと同様に、ダウンロードを行ったファイルを解凍し、「BlueMoonPackage_x.x.x.x_x64.msixbundle」ファイルをダブルクリックして下さい。
事前にアンインストールを行う必要はありません。

6. Blue Moon のアンインストール手順

- ① スタートメニューを表示し、「Blue Moon」アイコンを右クリックして下さい。
- ② ポップアップメニューからアンインストールを選択することで実行できます。。

セキュリティが強化された MSIX パッケージで管理されます。そのため、OS によるアプリのデータ領域とレジストリの管理方法が異なっています。

Blue Moon Version 4.0.0 以降のインストール後に Blue Moon を使用して作成されたデータは、アンインストール時にアプリのデータ領域とレジストリ領域から削除されます。アプリのデータ領域に DB ファイルを作成する場合は、アンインストール前に必ずバックアップして下さい。

アンインストール時の注意点については、「Blue Moon の操作マニュアル」の次の章を参考にして下さい。

「お読みください」>「アンインストール時の注意事項」